

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 19 年 2 月 8 日 (2007.2.8)

【公開番号】特開 2002-57892 (P2002-57892A)
 【公開日】平成 14 年 2 月 22 日 (2002.2.22)
 【出願番号】特願 2000-239751 (P2000-239751)
 【国際特許分類】

H 0 4 N 1/40 (2006.01)
B 4 1 J 5/30 (2006.01)
G 0 3 G 21/00 (2006.01)
G 0 6 T 1/00 (2006.01)
H 0 4 N 1/387 (2006.01)
B 4 1 J 29/00 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 1/40 Z
 B 4 1 J 5/30 Z
 G 0 3 G 21/00 5 6 0
 G 0 6 T 1/00 5 0 0 B
 H 0 4 N 1/387
 B 4 1 J 29/00 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 12 月 15 日 (2006.12.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】画像記録装置、及び、その制御方法、及び、記憶媒体

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 画像記録装置であって、

印刷すべき画像データの入力を行う入力手段と、

前記入力手段で入力された画像データに対して、複写禁止対象物であることを示す情報を重畳すると共に、前記画像記録装置固有の番号を含む偽造追跡情報を重畳する重畳手段とを有し、

前記重畳手段は、前記複写禁止対象物であることを示す情報と、前記画像記録装置固有の番号を含む偽造追跡情報とが重ならない位置に重畳することを特徴とする画像記録装置。

【請求項 2】 画像記録装置であって、

印刷すべき画像データの入力を行う入力手段と、

前記入力手段で入力の行われた画像データが複写禁止対象物であるか判定する判定手段と、

前記判定手段で画像データが複写禁止対象物であると判定された場合に、前記画像データの正常な印刷出力を行わないように制御し、

前記判定手段で画像データが複写禁止対象物であると判定されなかった場合に、前記画像データに対して、複写禁止対象物であることを示す情報を重畳すると共に、前記画像記録装置固有の番号を含む偽造追跡情報を重畳し、さらに、前記複写禁止対象物であることを示す情報と前記偽造追跡情報の重畳された画像データの印刷出力を行うように制御する制御手段と、

前記制御手段は、前記画像データに対して複写禁止対象物であることを示す情報を重畳すると共に、前記画像記録装置固有の番号を含む偽造追跡情報を重畳する際には、前記複写禁止対象物であることを示す情報と、前記偽造追跡情報とが重ならない位置に重畳することを特徴とする画像記録装置。

【請求項 3】 画像記録装置の制御方法であって、

印刷すべき画像データの入力を行う入力工程と、

前記入力工程で入力された画像データに対して、複写禁止対象物であることを示す情報を重畳すると共に、前記画像記録装置固有の番号を含む偽造追跡情報を重畳する重畳工程とを有し、

前記重畳工程は、前記複写禁止対象物であることを示す情報と、前記画像記録装置固有の番号を含む偽造追跡情報とが重ならない位置に重畳することを特徴とする画像記録装置の制御方法。

【請求項 4】 画像記録装置の制御方法であって、

印刷すべき画像データの入力を行う入力工程と、

前記入力工程で入力の行われた画像データが複写禁止対象物であるか判定する判定工程と、

前記判定工程で画像データが複写禁止対象物であると判定された場合に、前記画像データの正常な印刷出力を行わないように制御し、

前記判定工程で画像データが複写禁止対象物であると判定されなかった場合に、前記画像データに対して、複写禁止対象物であることを示す情報を重畳すると共に、前記画像記録装置固有の番号を含む偽造追跡情報を重畳し、さらに、前記複写禁止対象物であることを示す情報と前記偽造追跡情報の重畳された画像データの印刷出力を行うように制御する制御工程と、

前記制御工程は、前記画像データに対して複写禁止対象物であることを示す情報を重畳すると共に、前記画像記録装置固有の番号を含む偽造追跡情報を重畳する際には、前記複写禁止対象物であることを示す情報と、前記偽造追跡情報とが重ならない位置に重畳することを特徴とする画像記録装置の制御方法。

【請求項 5】 請求項 3 又は 4 に記載の画像記録装置の制御方法をコンピュータに実行させるためのプログラムを記憶したコンピュータ読取可能な記憶媒体。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

【発明の属する技術分野】

本発明は、画像記録装置、及び、その制御方法、及び、記憶媒体に関する。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

本発明は、上述した昨今の状況に鑑みてなされたものであり、その目的とするところは、画像データに対して複写禁止対象物であることを示す情報を重畳させるところにある。

さらには、この前記複写禁止対象物であることを示す情報を、画像記録装置固有の番号を含む偽造追跡情報と重なることなく重畳させることで、両者の情報の検出精度が下がらないようにするところもまた目的としている。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するため、本発明に係る画像記録装置は以下を特徴とする。即ち、印刷すべき画像データの入力を行う入力手段と、前記入力手段で入力された画像データに対して、複写禁止対象物であることを示す情報を重畳すると共に、前記画像記録装置固有の番号を含む偽造追跡情報を重畳する重畳手段とを有し、前記重畳手段は、前記複写禁止対象物であることを示す情報と、前記画像記録装置固有の番号を含む偽造追跡情報とが重ならない位置に重畳することを特徴とする。

これにより、画像データに対して複写禁止対象物であることを示す情報と前記画像記録装置固有の番号を含む偽造追跡情報との両方が、検出時の制度を低下させることなく重畳することができる。